

授業科目 NO. 407 老年看護学方法論 I (看護援助演習)

Gerontological Nursing I (Nursing Care Seminar)

授業の形態： 演習

単位数（時間数）： 1 単位（30 時間）

開講年次・学期： 2 年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 加齢変化、高齢者の健康障害、生活機能障害、
ヘルスアセスメント、日常生活援助技術、倫理的課題

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標（GIO）

加齢を基盤にした高齢者に特徴的な健康障害および生活機能障害による日常生活への影響を理解し、日常生活を整える援助技術を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 加齢を基盤とした高齢者に特徴的な健康障害、生活機能障害について理解する。(①②)
- (2) 加齢を基盤とした高齢者に特徴的な健康障害、生活機能障害のアセスメントの視点を理解する。(①②)
- (3) 高齢者の日常生活を整える基本的な援助技術を実施または説明できる。(①②)
- (4) 生きてきた時代背景と共に高齢者の生活史を理解し、現在の健康・生活機能との関連をとらえてヘルスアセスメントが実施できる。(①②)
- (5) 高齢者の倫理的課題およびエンドオブライフケアの現状や実際を知り、高齢者の意思決定支援について自分の意見を述べることができる。(①②)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	70%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：橋本 智江

教 授 平松 知子 (老年看護学)
 准 教 授 橋本 智江 (老年看護学)
 嘱 託 講 師 直井 千津子 (老年看護学)
 助 教 岩本 陽子 (老年看護学)
 非常勤講師 宮川 尚乃

6 教育担当者の実務経験

教育担当者は全員看護師としての実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 (医学書院)
- 2) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 (医学書院)

8 推薦参考書

- 1) 高齢者のナイトケア (日本看護協会出版会)
 - 2) 本人の意思を尊重する意思決定支援 事例で学ぶアドバンスケアプランニング (南山堂)
 - 3) 看護実践にいかすエンドオブライフケア第2版 (日本看護協会出版会)
- その他、授業の中で適宜紹介する。

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要である。

- 1) 「老年看護学概論」の授業で学んだ内容について復習しておくこと。
- 2) 授業前に教科書やナースングスキルによる事前学習を行い、理解できない内容をノートにメモして授業にのぞむこと。

1～4、6～8回目の授業：加齢に伴う変化とその影響、必要な援助技術の内容で構成されるため、

教科書 1) の各単元の該当箇所と合わせて、第 4 章高齢者のヘルスアセスメント B 身体の変加齢変化とアセスメント、教科書 2) 第 1 章高齢者の生理的特徴の関連器官の内容、また関連器官の解剖・生理学の復習も行うこと。

13 回目の授業：教科書 1) 第 2 章 C 高齢者の権利擁護

令和 5 年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果 厚生労働省ホームページ

14 回目の授業：教科書 1) 第 8 章エンドオブライフケア

教科書 2) 終章高齢者の在宅医療とエンドオブライフケア

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。
- 2) 試験に関しては、質問をもとに解説を提示する。

11 履修上の注意事項

- 1) 9・10 回目の演習は、地域在住高齢者の協力を得て実施する。体調管理、身だしなみ等実習に準じた準備が必要である（詳細は初回授業で伝える）。
- 2) 授業のグループワークやディスカッション時は、積極的に参加し学修を深めること。
- 3) 課題、レポートの提出方法・期限は厳守すること。

12 オフィスアワー等

質問は随時可能である。但し、事前にメールで都合を確認することが望ましい。

平松 hiramatu@kanazawa-med.ac.jp

橋本 hashimo@kanazawa-med.ac.jp

直井 c-naoi@kanazawa-med.ac.jp

岩本 otoitu@kanazawa-med.ac.jp

第2学年

老年看護学方法論Ⅰ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月07日(火)	3	講義	ガイダンス、高齢者の生活リズム(睡眠、休息と活動、社会参加)		老年看護学	橋本准教授
後	2	10月07日(火)	4	講義	高齢者の清潔(身だしなみ、感染予防含む)		老年看護学	橋本准教授
後	3	10月14日(火)	3	講義	高齢者の排泄		老年看護学	直井講師
後	4	10月14日(火)	4	講義	高齢者の栄養と食生活		老年看護学	直井講師
後	5	10月21日(火)	3	講義	高齢者のヘルスアセスメント(アセスメントの視点、生活史の聴取)	グループワーク 課題レポート	老年看護学	橋本准教授
後	6	10月21日(火)	4	講義	高齢者の脱水・薬物療法		老年看護学	直井講師
後	7	10月28日(火)	3	講義	摂食嚥下障害と口腔ケア		老年看護学	直井講師
後	8	10月28日(火)	4	演習	口腔ケア、義歯の取り扱い		老年看護学	直井講師,岩本助教
後	9	11月04日(火)	3	演習	ヘルスアセスメント(学外演習)		老年看護学	平松教授,橋本准教授, 直井講師,岩本助教
後	10	11月04日(火)	4	演習	ヘルスアセスメント(学外演習)	課題レポート	老年看護学	平松教授,橋本准教授, 直井講師,岩本助教
後	11	11月25日(火)	3	講義	高齢者のヘルスアセスメント(まとめ)	グループワーク	老年看護学	橋本准教授
後	12	11月25日(火)	4	講義	高齢者のヘルスアセスメント(まとめ)	課題レポート	老年看護学	橋本准教授
後	13	12月02日(火)	3	講義	高齢者の権利擁護(虐待、身体拘束)		老年看護学	直井講師
後	14	12月02日(火)	4	講義	エンドオブライフケア		老年看護学	直井講師
後	15	12月12日(金)	3	講義	エンドオブライフケアの実践:ナラティブホームにおける看護	課題レポート	老年看護学	宮川非常勤講師,橋本 准教授